

帯広の森 30 周年記念映像

1970 年（昭和 50 年）に開催された第 1 回目の市民植樹祭において、市民の手で初めて苗木が植えられた帯広の森は、その後多くの市民に支えられ、2004 年（平成 16 年）に 30 年目の節目を迎えることができました。

帯広の森市民植樹祭実行委員会では、この節目を記念するとともに、帯広の森づくりの 30 年の歴史を振り返り、未来へ伝える資料とするため、記念映像を企画・製作しました。

タイトルは『街を抜けると森がある。 帯広の森・30 年の軌跡』で、帯広の森造成が開始された経緯や、市民による植樹・育樹活動の様子、森の四季の表情、森で活動する団体の紹介、関係者へのインタビューなどが収録されています。

これら映像を収録した DVD ビデオは、2004 年 11 月に開催された帯広の森 30 周年記念シンポジウムにおいて披露された後、市内の学校や文化施設、十勝管内外の行政機関や教育研究機関などにそれぞれ配付されました。

